

横浜市立荇田西小学校

5月号

荇田西小だより

令和8年4月30日

校長 矢崎 純一

「人とかわり、学びを深める」

創立30周年の記念として植えられたモッコウバラが、今年も可憐で華やかに咲き誇りました。梅から桜、そしてモッコウバラへ。季節とともに咲き継がれる花々は、校内に彩りを添えるだけでなく、私たちの心にも潤いや安らぎを与えてくれているように感じます。自然の移ろいを身近に感じながら過ごす日々は、子どもたちにとっても、豊かな感性を育む大切な時間となっていることでしょう。

さて、今年度最初の朝会を、4月21日（火）に行いました。

昨年度までの学校経営を振り返る中で、今年度から朝会を火曜日に実施することとしました。子どもたちにとって、月曜バッグや上履きなど多くの荷物を抱えて登校した直後に行う朝会よりも、少し心と体に余裕をもって臨める翌日に行うほうが、よりよいスタートにつながるのではないかと考えたからです。

全校児童687名が体育館に一堂に会した朝会では、校長講話の中で、学校長として子どもたちに大切にしてほしいことを伝えました。それは、「あいさつができる人」「ありがとうを伝えられる人」「素直にごめんなさいが言える人」に育ってほしい、というメッセージです。これらは、日々の学校生活の中で人と関わる際の基本であり、どの時代にあっても変わることはない、人としての土台となるものです。

そして、このメッセージは、年初めの朝会における校長講話で、大切にしてほしいと伝えた「五つの心（素直な心・謙虚な心・反省の心・奉仕の心・感謝の心）」にも通じるものです。想像力を働かせ、相手の気持ちや立場を思いやる心遣いこそが、今、私たちに求められているのではないのでしょうか。日々の何気ない言葉や行動の積み重ねが、周囲との関係を温かいものへと変えていきます。

他者との円滑な対話を通して築かれた信頼関係を基盤に、互いに学び合いながら、自らの資質・能力を高めていく——。そのような学校生活を、教職員一同、子どもたちとともに作り上げていきたいと考えています。

これからも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、心豊かに成長する子どもたちの姿を大切に支えてまいります。